自殺予防教育プログラム　モデルプラン（年間指導計画例）～高等学校編～

「児童生徒の自殺を予防するためのプログラム」（H30．３月　北海道教育委員会）を効果的に活用するためのモデルプラン（年間指導計画例）を作成しました。
道内の19高等学校を指定校とし、各校における実践事例をまとめたので、参考に御活用願います。

自殺予防教育プログラムの取組

	第１時	第２時	第３時	第４時
A 援助希求的態度の育成	相談しやすい人間関係	相談しやすい方法	相談しやすい会話の仕方	――――
B 早期の問題認識	自殺の実際とその心理	こころの「黄色信号」	――――	――――
C ストレス対処能力の育成	楽観的に考え直す	将来に目を向ける	自分に置き換える	失敗を見つめ直す

凡例

内容・実施教科等
（実施内容または関連を図る活動例）

関連を図る活動例には、令和元年度指定校における取組の工夫を紹介

	第１学年	第２学年	第３学年
４月	A①・特別活動【HR 活動（２）ア】（スクールカウンセラーによる講義、学校行事（宿泊研修等）との関連）		C①・特別活動【HR 活動（２）ア】（外部講師による講話）
５月	A②・特別活動【HR 活動（２）エ】（スクールカウンセラーによる講義、教育相談との関連）		C②・特別活動【HR 活動（２）エ】（外部講師による講話、進路指導）
６月	A③・特別活動【HR 活動（２）ア】（外部講師による講話、集団カウンセリングの実施）		
７月	C①・特別活動【HR 活動（２）ア】（長期休業前の指導との関連）	B①・特別活動【HR 活動（２）オ】（外部講師による講話、長期休業前の指導との関連）	
８月		B②・特別活動【HR 活動（２）オ】（外部講師による講話、長期休業前の指導との関連）	
９月	C②・特別活動【HR 活動（２）エ】（保健体育科との関連、集団カウンセリングの実施）		C③・特別活動【HR 活動（２）ア】（大学と連携した取組、情報科との関連）
10 月			
11 月	B①・保健体育科（外部講師による講話）		C④・特別活動【HR 活動（２）エ】（外部講師による講話、進路指導）
12 月	B②・保健体育科（外部講師による講話）		
１月		C③・特別活動【HR 活動（２）ア】（情報科との関連）	
２月		C④・特別活動【HR 活動（２）エ】（外部講師による講話、進路指導）	
３月			

【モデルプラン（年間指導計画例）のポイント】

○　**第１、２学年で「A　援助希求的態度の育成」を重点実施**
～入学後及び学級編制後の集団づくりと関連付けるため。

○　**夏季休業前後（７、８月）にストレス対応や心身の不調に気付く力を身に付ける**
～18 歳以下の自殺が長期休業明けに増加することを踏まえ、第１学年で「C　ストレス対処能力の育成」、第２、３学年で「B　早期の問題認識（心の健康）」を実施。

○　**第３学年で、２学期末までに「C　ストレス対処能力の育成」を重点実施**
～進路選択の悩みや部活動終了後の環境の変化に対応するため。